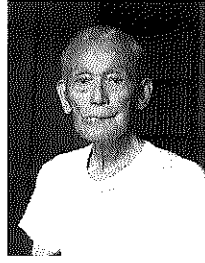


No.293
発行 竹田コミュニティセンター
編集 竹田広報委員会
〒910-0204 福井県坂井市丸岡町山竹田119-3
TEL 0776-67-2543
FAX 0776-67-2543
E-mail:takeda-cc@city.fukui-sakai.lg.jp

福井空襲(昭和20年7月19日深夜)、B29のエンジン音が響き、たくさんの焼夷弾が投下されて福井の方の空は赤く燃え上がっているのが見えた。当時小学6年生の時、長男の兄、藤左門さんが陸軍兵士を志願して東軍戦争に出兵、学校から山竹田区への道を、日の丸を掲げて歩いて見送った。父は、国鉄丸岡駅まで見送りに行った。しばらく

福井空襲(昭和20年7月19日深夜)、B29のエンジン音が響き、たくさんの焼夷弾が投下されて福井の方の空は赤く燃え上がっているのが見えた。当時小学6年生の時、長男の兄、藤左門さんが陸軍兵士を志願して東軍戦争に出兵、学校から山竹田区への道を、日の丸を掲げて歩いて見送った。父は、国鉄丸岡駅まで見送りに行った。しばらく



山竹田区松原比登志 マン

あの日から75年...を想ふ

して、兄の爪と「自分はお帰れないと思う。後を頼む」と書かれた手紙が届いた。その後、昭和20年8月18日、満洲蒙吉にて19歳で戦死を遂げ、兄は帰って来なかった。その手紙を詠んだ比登志さんは、疎開して来た親戚や家族を食わせていくために、父がしていた炭焼きを手伝い、炭炭のようにならした。大根を米のように細かく刻んだ大根めしやサツマイモを食べ、無銭で中を頑張りてきたと時折涙ぐみ思い出してお話してくれました。

これからの竹田地区行事を考える
～竹田コミュニティセンター運営協力会～

8月6日(木)竹田コミュニティセンターにおいて、竹田地区の会長会、文化共栄会、各種団体の会長様にお集まりいただき、今年にはコロナウイルス感染予防のために中止となっているイベント等ですが、高齢化となりつつあり、いろいろな祭りの運営が難しくなっていることも踏まえ、来年の竹田地区の行事のあり方について、議論をされました。

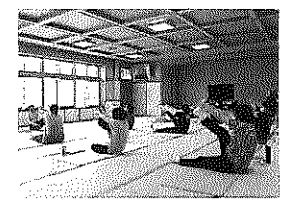


コミュニティセンター講座
8月2日(日)「ヨギセンター」短期講座 老若男女だれでもできるヨギ体操」が開講されました。講師は、フクイヨギが健康クラブ 坪田 充代先生にご指導いただきました。参加者は名



「無理しないでいいよ、伸ばしなさい」

をほめて伸ばしていきました。痛い気持ちいい感じの無理のないヨギ体操で、肩回りや腰が楽になります。ヨギは呼吸と熱中症対策として、エアコンと扇風機を回し窓を開けて行い、スリぶりの快適な汗をかき自分の身体に感謝し、ゆったりとした空間での体操に一生懸命に取り組まれました。気持ちのよい汗を流されました。



「無理しないでいいよ、伸ばしなさい」

○じょんころ音頭・踊り
お盆に開催していた各地区にての盆踊りは当面中止。竹田音頭保存会に各区分も役員に加わり、竹田じょんころ音頭を伝承していくために、年一回はじょんころ踊りの場を設けて行います。

○スロレフ祭
今年にはコロナウイルス感染防止のために開催中止していましたが、地区民の交流の場としてレクリエーションを区長会が主となり運営していくことで検討しています。

お・あ・し・す
9月のある日、千秋さんは3歳になる娘の楓(かえで)ちゃんとしぶりに夕飯のおかずの買い物に出かけました。歩いていくと、いきなり雨が降ってきました。雨はすぐ止み、空にはキレイな虹がかかりました。いっも元気な笑顔の絶えない楓ちゃん。しかし買い物機に、よく泣くようになりました。「何だろう? 叱っていないのに、千秋さんには理由が見当たらない。ある日1時間も泣いているの。」と聞いてみると、ニッコリしながら「だって、泣くとお目目から雨みたいになっちゃう。降ってくるから。」千秋さんは、しばらくしてハッとしました。「楓、これから一緒にいっばい買い物行こうよ。楓ちゃん、お母さんともたキレイな虹が見れるよ。いネ...」



(邦)

竹田の里づくり協議会

いきいきあんしん部会

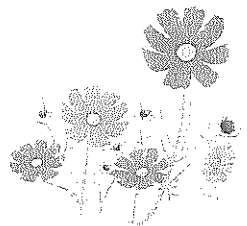
7月5日(日)、国道36号線沿いと忠霊塔前に竹田の里づくり協議会(いきいきあんしん部会)が、コスモスの種まき作業を行いました。先に草刈りをして、耕した後に、小さな針のような種を砂と混ぜ合わせ播いていきます。秋には、ピンク色のコスモスがきれいに咲いてくれるのを楽しみにしてください。



「細い針のような種を砂と混ぜ合わせるよ蒔きやすくなるんやぞ〜」



〜慣れず手つきで作業中〜

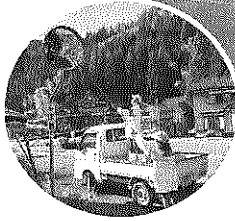


竹田地区内の交通安全を見守っています

6月1日(月)山口交差点にての街頭運動、7日(日)には、竹田地区内のカーブミラーの清掃作業を行いました。地域の交通安全啓発活動を推進しています。



坂井市交通安全協会(第8分会)のみなさん



いつも何気なく見て、安全確認をしていますが、磨いてくださっている方々に感謝申し上げます。

「マス返りの滝」に看板設置

緑のふるさと協力隊の栗生(あみ)さんと集落支援員の竹内作左エ門さんが、マス返りの滝の周辺の整備と看板設置をしました。竹田に訪れて、渓流釣り



滝返りの滝はきれいですね〜大切にしたい〜

や写真撮影に訪れている人が多く見られるが、場所が分かりにくく、出入り口が整っていないので、草を刈り、階段を作って整備しました。倒木していた木を伐り、丸太の椅子にしました。と、丸太に座り完成を祝いました。また一つ観光名所が増えました。

旧吉谷歴史探索道の整備事業



6月27日、竹田水車×ロディーパークにある、吉谷千坊 吉谷不動尊より湧き出る「独鈷清水の神の水皮け」が新しくなりました。吉谷の樹齢約80年の杉の木を一本彫りで、山口区の松川秀幸さんが製作されました。



前田 勲さん

(山竹田・91歳)

高橋 直子さん

(上竹田・99歳)

竹田キャンパスの学生が竹田地区民に聴いて得られた経験談を「ただの生き字引うらない」として作成したものの一つを紹介しました。

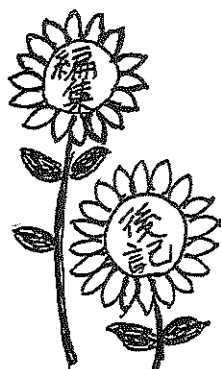


資源ごみ収集についてご協力をお願いします。

最近、資源ごみ収集場所の竹田コミュニティセンター北側駐車場に分別せずに置いてあることがありました。仕分けが分からない場合は、当番の方に相談して分別してください。実施時間は、朝8時30分から9時30分までです。必ず時間は守りましょう。④消火器は、専門の業者所だぞ...ヤッぱり

イベントガイド行事

- 10月11日(日) 竹田資源回収(各地区回収場所)
- 31日(土) 坂井市民文化祭(丸岡地区) (高橋コミュニティセンター・たかむく古城ホール) 郷土芸能出演 竹田音頭保存会・踊り手 竹田婦人会の皆さん



今年は、30℃超えの真夏日が続いたせいか、先日、コミュニティセンターの玄関にアオダイショウが入ってきて、大騒ぎしました。そして、人も涼しさを求めて、たけくらげ広場に連日たくさんさんのテントが並んでいます。川遊びも出来て、コロナ禍から逃れて、今でもカモシカが見られる自然の中で、ご家族がくつろがれているようでした。いい所だぞ...ヤッぱり (心香)